作成日：西暦 2026 年 9 月 1 日　第 1 版
〔ホームページ公開用資料〕

相対的喉頭位置と反復唾液嚥下テスト(RSST)・改訂水飲みテスト(MWST)・摂食嚥下臨床的病態重症度分類（ 才藤ら）の関連に関する研究

1. 臨床研究について

沖縄病院では、最適な治療を患者さんに提供するために、病気の特性を研究し、診断法、治療法の改善に努めています。このような診断や治療の改善の試みを一般に「臨床研究」といいます。その一つとして、沖縄病院リハビリテーション科では、現在 27 名（病名）の患者さんを対象として、相対的喉頭位置と反復唾液嚥下テスト(以下 RSST)・改訂水飲みテスト(以下 MWST)・摂食嚥下臨床的病態重症度分類（才藤ら）との関連について「臨床研究」を行っています。

今回の研究の実施にあたっては、沖縄病院倫理審査委員会の審査を経て、病院長より許可を受けています。この研究が許可されている期間は、2027 年 3 月 31 日までです。

2. 研究の目的や意義について

相対的喉頭位置（RLP）は他の指標と比較し、より簡便で、負担をかけず、検査者同士の誤差が生じにくいといったメリットがありますが、脳卒中以外の神経筋疾患についても同様に有用かを検討することを本研究の目的としました。

3. 研究の対象者について

沖縄病院神経内科において 2026 年 1 月 1 日から 2026 年 4 月 30 日までに入院中で研修分担者の言語聴覚士の介入依頼がある進行性筋疾患症例

研究の対象者となることを希望されない方又は研究対象者のご家族等の代理人の方は、患者相談窓口までご連絡ください。

4. 研究の方法について

この研究を行う際は、電子カルテより以下の情報を取得します。また、横向きで寝てもらい首を最大まで沿った状態で喉仏と顎の長さ、喉仏と胸骨の距離を測定します。測定結果と取得した情報の関係性を分析し、相対的喉頭位置と RSST と MWST・摂食嚥下臨床的病態重症度分類との相関に対する影響を明らかにします。

〔取得する情報〕

主要評価項目の相対的喉頭位置は RLP＝GT/（GT+TS）で計算します。

＊GT―喉頭隆起と舌骨上縁の距離　TS―喉頭隆起と胸骨上縁

副次評価項目は GS グレード・年齢・疾患・BMI・頸部可動域（伸展、屈曲、左右側屈、

左右回旋）をカルテから取得します。

〔取得する試料〕
ありません
〔利用または提供開始予定日〕
2026 年 11 月 7 日国立病院総合医学会

5. 個人情報の取扱いについて

研究対象者の測定結果、カルテの情報をこの研究に使用する際には、研究対象者のお名前の代わりに研究用の番号を付け、容易に個人が特定できる情報を削除して取り扱います。研究対象者と研究用の番号を結びつける対照表のファイルにはパスワードを設定し、沖縄病院電子カルテ内のインターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、同分野の職員によって入室が管理されており、第三者が立ち入ることはできません。研究によって取得した情報は、沖縄病院リハビリテーション科言語聴覚士月成駿介の責任の下、厳重な管理を行います。
この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、研究対象者が特定できる情報を使用することはありません。ご本人等からの求めに応じて、保有する個人情報を開示します。情報の開示を希望される方はご連絡ください。

6. 試料や情報の保管等について

〔情報について〕
この研究において得られた研究対象者のカルテの情報等は原則としてこの研究のために使用し、研究終了後は、リハビリテーション科言語聴覚士月成駿介の責任の下、5 年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

また、この研究で得られた研究対象者の情報は、将来計画・実施される別の医学研究にとっても大変貴重なものとなる可能性があります。そこで、前述の期間を超えて保管し、将来新たに計画・実施される医学研究にも使用させていただきたいと考えています。その研究を行う場合には、改めてその研究計画を倫理審査委員会において審査し、承認された後に行います。

7. 利益相反について

沖縄病院では、よりよい医療を社会に提供するために積極的に臨床研究を推進しています。そのための資金は公的資金以外に、企業や財団からの寄付や契約でまかなわれることもあります。医学研究の発展のために企業等との連携は必要不可欠なものとなっており、国や大学も健全な産学連携を推奨しています。

一方で、産学連携を進めた場合、患者さんの利益と研究者や企業等の利益が相反（利益相反）しているのではないかという疑問が生じる事があります。そのような問題に対して

沖縄病院では「利益相反委員会規定」を定めています。本研究はこれらの要項に基づいて実施されます。

本研究に関する必要な経費はなく、研究遂行にあたって特別な利益相反状態にはありません。

利益相反についてもっと詳しくお知りになりたい方は、下記の窓口へお問い合わせください。利益相反委員会（窓口：沖縄病院管理課　電話：098-898-2121）

8. 研究に関する情報や個人情報の開示について

この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は患者相談窓口にご連絡ください。

9. 研究の実施体制について

この研究は以下の体制で実施します。

	施設名	職名	氏名
研究代表者	沖縄病院神経内科	医師	大屋裕一郎
研究分担者	沖縄病院リハビリテーション科	言語聴覚士	月成駿介
研究分担者			
研究分担者			
研究実施場所	沖縄病院リハビリテーション科		

10. 相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、下記までご連絡ください。

患者相談窓口	担当者：沖縄病院地域医療連携室 連絡先：〔TEL〕098-898-2121 〔FAX〕098-897-9838